少年の奏でている曲は…

この作品は、一戸町出身で戦後日本を代表する彫刻家・舟越保武の作品で、一九六二（昭和三十七）年十一月に盛岡市庁舎の落成を記念して、中津川沿いの市役所裏庭に設置されました。

伏し目がちな表情で横笛を吹く少年の姿からは、少年の清廉な心を感じさせられます。

この作品は、一九六二年の新制作展（九月二二日～十月十日・東京都美術館）に出品されたものになります。舟越保武による「笛吹き少年」という作品は、この盛岡市の作品の他にも、東京都「有栖川宮記念公園」、名古屋市「名城公園・彫刻の庭」、清瀬市「ケヤキロードギャラリー」、広島市「比治山公園のまんが図書館前」にも同名の銅像があります。ただし、笛を横に吹いているのは盛岡の銅像だけです。一体どんな曲を奏でているのでしょうか。